

平成 30 年 11 月 5 日

長野県障がい者 I T サポートセンター
(受託事業者：特定非営利活動法人 S O H O 未来塾)

セミナー実施報告書

~~1. 趣旨及び内容~~ 同封の告知チラシをご覧ください

~~2. 講演資料~~ 同封しました

3. 集客数

来場できない希望者にライブ配信しました。端末側 PC には、講演資料の他に「講師のお顔」または「会場風景」を表示するスタイルで実施しました。

(1) 来場者人数

障がい当事者とその家族	18名
支援者（障がい者支援の立場の方）	24名
企業・行政	13名

合 計 55名

(2) ライブ配信聴講者

障がい当事者（個人）	6名
障がい当事者（2団体）	15名

合 計 21名

- ・結果的にライブ配信聴講者を加えて集客目標 73 名になり、今回の来場者は障がい当事者とその支援者が多数を占めた点が特徴的でした。
(内、全盲で盲導犬利用者 1 名・車椅子利用者 3 名 県外からの来場者 1 名)
- ・聴覚障がい者向けとして要約筆記チームを配備しましたが該当者はゼロでした。

~~4. アンケート結果~~ 同封しました

回収率は 53% であり、内容自体はそれなりに評価していただいたようです。

5. 開催しての所感

主催者側は、企業にテレワーク文化が浸透することにより（最終的に）重度障がい者等に「在宅型業務が廻ってくる」ことに期待しています。

そのためには、まず企業にテレワークに関する認識を新たにさせていただく必要が

あり、出来るだけ多くの企業にセミナー参加を期待しましたが、告知期間が短かったこともあり、その当てはかなり外れました。

しかし、今回初めて実施した「ライブ中継」は、(今回は企業への告知が間に合いませんでしたが) 時間・距離・経費面から企業にとってもセミナー参加がし易くなり、今後のツールとして極めて有効と思われます。

今後もこの様なツールを活用しながら効率的なセミナーを繰り返すことにより、テレワーク文化醸成に向けて息の長い地道な啓発活動が必要と感じます。

以上

会場写真



前方左側が要約筆記チーム



事例紹介 1 津田貴様



事例紹介 2 林光洋様



事例紹介 3 古後理栄様